

獨協医科大学規程集

○獨協医科大学日光医療センター地域医療支援事業共同利用放射線診断機器（ＣＴ・ＭＲＩ）に関する細則（平成30年4月1日制定）

獨協医科大学日光医療センター地域医療支援事業共同利用放射線診断機器（ＣＴ・ＭＲＩ）に関する細則

平成30年4月1日
制定

（趣旨）

第1条 この細則は、獨協医科大学日光医療センター（以下「日光医療センター」という。）における日光医療センター地域医療支援事業運営管理規程（以下「支援事業運営管理規程」という。）第2条及び日光医療センター地域医療支援共同利用に関する細則第3条第4項に則り、登録医療機関（日光医療センターで定める「連携医療施設」のことをいい、以下「連携医療施設」という。）が放射線診断機器を円滑に利用できるよう定めるものとする。

（利用範囲）

第2条 連携医療施設が放射線診断機器を利用できる機器は、以下の機器とする。

- （１） ＣＴ：単純撮影
- （２） ＭＲＩ：単純撮影（ＭＲＡは脳・頸部のみ）
- 2 ＭＲＩ、ＭＲＡは問診票の提出は必須とする。
- 3 撮影後のフィルム出力は行わず、ＣＤまたはＤＶＤで出力する。
- 4 放射線科診断医の読影レポート依頼は不可とする。
- 5 体内挿入物（止血クリップ・各種ステント・外科用インプラント・シャント・刺青・タトゥー等）のある場合や12歳以下、また鎮静の必要な患者の撮影は不可とする。

（検査の予約）

第3条 連携医療施設が放射線診断機器を利用する場合は、支援事業運営管理規程第8条に則り、連携医療施設から日光医療センター地域連携医療部（以下「地域連携医療部」という。）への申請をもとに当該放射線オーダーを発行して依頼元医療機関へ連絡する。

- 2 地域連携医療部は、連携医療施設からＦＡＸで送信された検査依頼書（ＭＲＩは問診票を添付）をもとに日光医療センター放射線部と連携を図り、検査依頼書は地域連携医療部からスキャン依頼をする。
- 3 問診票の内容によっては、検査が中止となる場合がある。

（検査前日）

第4条 連携医療施設が放射線診断機器を利用する場合は、検査前日、検査室に地域連携医療部から検査依頼書と問診票の写しを届ける。なお、問診内容によっては検査が中止となる場合がある。

（検査当日）

第5条 連携医療施設が放射線診断機器を利用するにあたり、検査当日、外来受付にて受付し、受診券を発行する。その後、患者を放射線部受付へ案内し、検査終了後、放射線部受付において画像送信処理を確認して地域連携医療部へ連絡する。

- 2 地域連携医療部は、画像データを情報処理室に対してＣＤまたはＤＶＤでの出力を依頼し、出来上がったものを患者に渡す。

（細則の改廃）

第6条 本細則の改廃は、地域連携医療部運営委員会及び日光医療センター診療科長会の議を経て、支援病院運営委員会へ報告する。

附 則（平成31年 細則第5号）

この規程は、平成30年4月1日から施行する。